

R 4 年度 全国学力・学習状況調査結果 に関するご意見まとめ

★学校運営協議会委員のみなさまからいただいたご意見のまとめ

9月9日（金）第2回学校運営協議会にて委員のみなさまからいただいたご意見・ご感想、「気づかれた点」「気になった点・改善を要すると思う点」のまとめです。

1. お気づきの点（よい点）

- ICT機器を積極的に使った授業は、伊丹市として進んでいると思うが、その中でも笹中は良い結果となっている。（2名）
- 創造性・意欲等に関して良い結果となっているのは、先生方と生徒の関係がうまくいっているからだと思う。また、授業を工夫されているのだと思う。
- 「決めたことはやりとげる」が90%以上は、素晴らしい。
- 自尊心が高いからこそ、他の人を思い、尊重することができている。人権意識の向上につながり、大切なことである。ぜひ、人の役に立ってほしい。
- 「将来の夢や目標を持っているか？」の質問に、半分くらいが「あてはまらない」と答えているが、学校へ通うことや友人との活動は楽しいようなので、毎日の生活には満足しているが、将来への不安は持ち続けている感じなのかと思う。
- 他人に優しくしたり、いじめはダメだと思っ子らがほとんどだが、友人以外に相談できる人がいない感じを受ける。
- 学習状況調査の結果は、ここ数年上昇し、全国平均並になっている。一方、国語、数学に比べ、理科が伸び悩んでいるのは、全国的な課題なのではないか？
- どの教科も大切な教科だと思うが、面白くなければ（理解できなければ）興味関心がわかないので、できるだけ生活の身近なもの結びつける工夫が必要かもしれません。ある意味テキスト方式（一斉授業・知識伝達型）の限界とも言えるので、自由研究の目的と同じように、自らの疑問を追究していく中で、自ら調べ、答えを見つけていけるような授業設定が大切なのではないのでしょうか。

2. 気になった点・改善を要すると思われる点

- ▲理科の勉強が少し気になる。数学はそんなに悪い結果ではないので、「笹トレ」「ICT機器を使った授業等の好事例」も参考にしながら、改善してください。
- ▲理科は、わからないから好きではないと思います。ぜひ、わかりやす授業をお願いします。
- ▲コロナ禍の中、地域との接点が少なくなったのは残念です。
- ▲「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人に相談できる」が少ないのは残念ですね。
- ▲インターネットで、学習も趣味（動画や音楽など）もできる今、それ以外の活動が少なくなっている気がします。
- ▲読書、地域行事への参加、自然の中で遊ぶなど、家庭や学校以外で他人の考えや行動にふれる機会が減ってしまっていることが残念です。生徒のみなさんは、毎日に余裕がなく、与えられたものをこなすだけになりがちとは思いますが、本人たちがやってみたいことを応援するチャンスはあって欲しいです。
- ▲笹中は緑が多く、毎日水やりや草抜きなどの作業ができるくらい自然とふれあう環境があります。野菜やお花を育てるなど、学習室以外の生徒さんもいかがでしょうか？（ちょっと、土を掘り返さないと、すぐにはできませんが・・・）
- ▲笹中生は、数字から見ると「自己肯定感情」が高く、他者理解への意識も高いように思いますが、先生方が見ている学校内での生徒の生活状況とのギャップはないのでしょうか？
- ▲悪いことではなく、むしろ良いことなのかもしれませんが、思春期の難しい時期で、色んな意味で、パワーを外に出したい時期の割には、おとなし過ぎないかと、逆に心配・不安な面はないのでしょうか？自己主張も大切なことで、時には、他者との考え方の違いの中で、どう折り合いをつけていくのか、ということや、葛藤と向き合う場面も必要かもしれませんね。